

## 学習用1人1台端末購入について (Q & A)

Q1 英藍高校が目指す、ICT機器を活用した教育活動を教えてください。

- A1
- 1 目的に応じた情報収集と活用により、自分の学びを深化させます。
  - 2 デジタル教材や学習支援ツールなどにより、個に応じた学びを進めていきます。
  - 3 共同作業を通じてリアルタイムで考えを共有しながら、協働的な学びを進めていきます。
  - 4 調べたことをスライドにまとめ、プレゼンテーションをすることで自分の考えを表現する活動を進めていきます。
  - 5 クラウドサービスや学習支援ツールを使って、学習や活動を記録し、自分の成長を振り返り自己の成長を図ります。また、保護者・生徒の皆さんへの諸連絡や欠席連絡のデジタル化を図っております。

Q2 購入する端末 (OS) は何ですか。また、なぜその端末なのでしょう。

A2 購入端末は、Chromebook(ChromeOS)です。

札幌市教委では、小中学校に Chromebook(ChromeOS)を1人1台端末として導入しています。入学生が、端末に慣れているということと安価であることが理由です。

Q3 購入方法と端末の納入について教えてください。

A3 本校では、斡旋業者の店頭で直接購入申し込みすることになります。詳しくは、合格通知に同封する「令和7年度入学生用学習用端末の購入について」の案内を御確認ください。

納入については、すぐに授業で使えるように設定などを済ませた上で、学校一括で引き渡しになります。納入時期は、4月下旬を予定しています。

Q4 端末2機種が紹介されていますが、どちらを購入すると良いのでしょうか。

A4 どちらを購入しても良く、操作性に大きな差異はありません。参考としてあげますと、

- ・「NEC Chromebook Y4」はキーボード一体のコンバーチブル型で、一般的なノートパソコンと同じ形状です。下記との比較では、若干大きめの画面サイズで重ためですが、頑丈で故障は少ないです。
- ・「Dynabook Chromebook C70」はキーボードの脱着ができるデタッチャブル型で、軽く持ち運びしやすいです。上記との比較では、乱暴に扱うと破損しやすく、故障件数が多いです。A6にある「3年間の保証」により、無料で修理を受けることができます。

Q5 入学生全員が購入しなければならないのでしょうか。

A5 Chromebook(ChromeOS)があれば購入の必要はありません。ただし、古い機種やスペックが低い機種の場合、繋がらないなどの不都合が生じる場合が考えられ、対応できない場合がありますのでご承知おきください。

また、経済的な事情で用意することが難しい御家庭には、貸与用機材を用意しております。合格通知に同封する書類を御確認の上、貸与の手続きをしてください。

すでに所有している iPad などを活用することも考えられますが、さまざまな端末が混在することによる授業での混乱やネットワーク上の管理ができないことで生ずるトラブルを回避するために Chromebook に統一しております。下記の Q7 のメリットにもお目通しください。

Q6 家庭にある Chromebook を持ち込む場合は、どのような対応が必要ですか。

A6 事前に本校まで連絡し、使用予定の機種をお知らせください。授業に支障のない機種か、スペックやOSのサポート期限を確認します。また、別途料金が発生しますが、MDM（端末管理ツール）を購入していただきます。設定のため、端末を一時お預かりします。必要に応じて、各家庭で端末に保険をかけることや、バッテリーの劣化に備えてモバイルバッテリーの購入をお願いします。

Q7 斡旋端末を購入するメリットは何ですか。

A7 大きく次の3点がメリットとなります。

①全員が同じ環境で授業を受けられます。

端末の引き渡し前に業者が3年間保証をかけ初期不良の点検や校内ネットワークの設定、端末管理ツールのインストールまで済ませ、全員が同じ環境のもと、すぐに授業で使えるようになっています。

②手厚い3年間保証がついています。

端末の故障などで修理が必要な場合、3年間の保証により無料で、回数の制限なく修理が受けられます（故意に壊した場合などは対象外）。そのため、機器の故障の他、画面割れや、落下して物理的に破損した場合なども手厚く保証されます。

③端末管理ツールにより、学校一元管理のもと、次のように安全安心に利用できます。

- ・生徒が端末を紛失した場合、他者が利用できないように端末をロックできます。
- ・生徒が自分の機器を取り違えてしまったとき、登録ナンバーから本当の所有者を見つけることができます。
- ・学習に関係のないアプリケーションの利用を制限できます。
- ・不適切なサイトへのアクセスを制限します。
- ・他者の不正ログインや、利用者の許可なく、共有ファイルの外部流出を防ぐことができます。
- ・学校の校内ネットワーク（Wi-Fi）に自動接続されるようになります。

Q8 生徒の端末は、学校で保管するのですか。

A8 個人の端末になるので、各自が持ち帰り自宅で充電し、その都度持参することになります。

Q9 授業中、関係のないサイトにアクセスしないよう管理はできないのでしょうか。

A9 学習系校内ネットワークが、不適切なサイトへのアクセスを制御します。また、MDM（端末管理ツール）により、校内での活用については管理しています。

Q10 個人で購入した端末であれば、制御は不要なのではないでしょうか。

A10 個人所有とはいえ、この端末は「個人の学習を補助し、協働的な学びや個別最適な学習」をより推進するための学習教材です。この基本的な考え方を徹底しなければ、校内で自由にスマホを利用できる状況と変わらないことになってしまいます。このため、一定の制御は必要であることから、校内では利用規定にもとづいた活用をすることになります。

なお、自宅など学校外での利用については、制御はありません。